

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「ふらっぶ」		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層のお子さん同士が関わる集団活動	集団での活動を行うことで他者との関わりや社会でのルールを学べる。ソーシャルスキルが学習の時だけでなく遊びや生活の中で生まれる自然なやりとりの中でも身に付くようにしている。	事業所内だけでなく、他事業所や地域のお子たちと関わる機会の確保の検討。
2	活動スペースの広さ、部屋数の多さ	活動場所に室内だけでなくテラスや多目的室、1階ホールを活用することにより、様々な活動を行っている。夏にはテラスにプールを設置し水遊び、プールの活動を行っている。 また、集団の騒がしさが苦手なお子さんは、別室で少人数で過ごす時間を作り安心して過ごすことができるようにしている。	会議や見学があった場合は使用できる部屋が限られる。パーティションを活用したり時間差をとるなどして工夫し、限られたスペースでも皆が安心して過ごせるようにしていく。
3	帰りのお迎えの際にご家族と職員が顔を見てゆっくりお話ができる	帰りはあえてご家庭への送迎は行わず、ご家族にお迎えに来てもらうことで、顔を見てお子さんの様子をお伝えできるようにしている。お子さんをお預かりしたまま、急ぎの相談ごとにもすぐに対応できる。	帰りの時間が重なった際にゆっくりとお話の時間がとれないことがあるため、ご相談がある際には事前に調整しておく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNSでの情報発信があまりできていない	ご家族に向けて毎月『ふらっぶだより』の発行をしているが、外部に向けての発信は年数回のXを活用した発信にとどまっている。	今後情報発信の際に活用するツールや発信内容、頻度について検討したい。
2	緊急時の保護者への連絡体制に不安がある	事前に緊急連絡先をお伺いしてすぐに連絡を取れる体制をとっているが、災害時等に十分な対応ができるかどうかは不明。	災害時等の対策について事業所内でより具体的な場面を想定した話し合いを重ねていきたい。
3			